



# 元気



まちの元気は一人ひとりの元気からつくられます。大人から子どもまで一人ひとりがつながりを作り、元気で安心な東成区のまちをつくりましょう。

## 見守り相談室

みなさんの住んでいる地域でこんな人に気づいたら……

- 暗くなっても灯りがつかない
- 窓が開けっ放し
- いつも見かける場所で見かけなくなった
- いつも同じ身なりをしている
- あいさつや会話の様子がいつもと違う
- 新聞や郵便物がたまっている
- 洗濯物が数日干しっぱなし
- 最近瘦せてきたみたい
- 親の介護で疲れてるようだ
- ごみ出しをしなくなった



見守り相談室へ  
06-6977-7035

気づきを築いて



つながろう!

## 生活支援コーディネーター

元気なうちから築きましょう!

- 空いた時間にボランティア活動がしたい
- 趣味の会や、体操の会に参加したい
- お茶を飲みながらつどえる場や運動の場をつくりたいけど、どうしたらいいかわからない

新しい出会い、生きがいづくりを始めたい方は、

生活支援コーディネーターへ  
06-6977-7031





# 見守り相談室

地域コミュニティのつながりが弱くなり、社会的孤立の広がりによる孤立死や、認知症高齢者等の行方不明による事故が深刻な課題となっています。

東成区社会福祉協議会では「見守り相談室」を設置し、福祉専門職のワーカーが、名簿提供にかかる同意確認をしています。

対象となる方には、郵便で個人情報同意確認の書類を送付しており、返信の無い方には訪問も実施しています。

「見守り相談室」では、さまざまな課題を解決することができるよう、サービスや地域とつなげ、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、地域と行政が一体となった取り組みを進めています。



# 見守り相談室の役割

住民の方々がお互いに助け合い・声を掛け合い、住み慣れたまちで安心した暮らしができるように3つの機能で事業を実施しています。

**機能1** 同意された方の名簿を地域と情報共有し、もしもの時に役立てます。日頃の見守り活動が、いざという時役立つように!

**機能2** 自分で「SOS」を発信できない人、しない人などに気づいたら訪問し、必要な支援や地域につなぎます。



**機能3** 認知症等で行方不明となりそうな方は、見守りメールの登録で早期発見!



# つながりから生まれる 安心の絆

## 生活支援コーディネーターの役割

- 1 介護予防につながる場所や生きがいづくりの活動、また生活支援サービス※を把握し、周知します。(※介護保険制度で提供できない日常生活の不安や心配ごとのサポートにつながるサービス)
- 2 福祉や介護の専門職の取組みと住民同士の支え合い活動のネットワークづくりを行います。
- 3 さまざまな機関や団体、個人と連携しながら、介護予防や支え合い活動の充実に取り組みます。

## 生活支援コーディネーター

“いつまでも元気”に、医療や介護を利用しないで暮らしたい。そのためには普段からの健康づくりや介護予防の取組み、ご近所づきあいや老人クラブ、ボランティア活動などでの“交流やつながり”がとても大切です。

生活支援コーディネーターは、“いつまでも元気”をテーマに、高齢者の必要な地域情報や活動情報を発信します。また、介護予防につながる事業を企画し、主体的な参加を応援します。

